

第2回 とよた歴史検定

上 級

時間 10時30分～11時30分 (60分)

[注 意 事 項]

1. 監督の指示があるまで、問題用紙と解答用紙に手を触れてはいけません。
2. 問題は **1** から **50** までです。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止してください。
5. 印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督の指示に従ってください。なお、問題についての質問には一切応じません。
6. 解答用紙の回収は、監督の指示に従ってください。

選択問題は解答用紙の該当記号に○をつけて下さい。

1. 旧石器時代の末期には、長さ3～4cm、幅数mm以下の小型の細長い石器が登場した。木や骨で作った柄に細い溝を刻んではめ込み、槍として使ったりした。豊田市内では、梅坪遺跡（東梅坪町）・大明神B遺跡（渡刈町）などで散発的に発見されている。この石器を何というか？

ア：ナイフ形石器 イ：石鏃 ウ：搔器 エ：細石刃

2. 縄文時代は約1万年間続き、土器形態などから、時代を6時期に区分する。縄文時代中期にあたる時期は、土器の形態はもっとも装飾的になり、種類も多くなる。旭地区下切町のある遺跡からは、写真のような中期の「釣手土器」や「蛇形の把手」が出土した。この遺跡は次のうちどれか？

ア：酒呑ジュリナ遺跡
イ：水汲遺跡
ウ：大砂遺跡
エ：大窪遺跡



3. 縄文時代の人々は、植物採集・狩猟・漁労で食糧を得ており、中でも木の実などの植物食が中心で、稲武地区の中村遺跡（桑原町）や高橋地区の寺部遺跡（寺部町ほか）では、ドングリやトチの木の実を蓄えた多数の貯蔵穴が発見された。木の実を食するためには、アクを抜いたあと、すりつぶして粉状にし、団子のように固めて焼いたり、粥状にしたりして食べていた。では、木の実をすりつぶすために使われた道具として、適当なものは次のうちどれか？

ア：石鏃 イ：石錐 ウ：石皿 エ：石棒

4. 足助地区の今朝平遺跡から出土した土偶は次のうちどれか？

ア



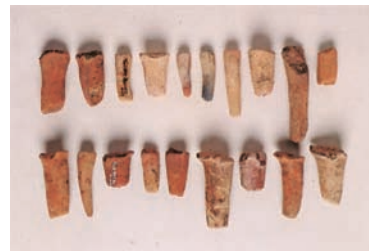
イ



ウ



エ



10. 百々古墳から出土したと言われている鏡の名称を答えなさい。この鏡は現在、大阪歴史博物館が所蔵し、京都府の椿井大塚山古墳と兵庫県の権現山 51 号墳で出土している鏡と同じ型で造られたことがわかっている。

11. 西三河地方最古の須恵器の窯跡が見つかった遺跡は次のうちどれか？

- ア：上向イ田 3・4 号窯 イ：三味線塚古墳
ウ：神明遺跡 エ：岩長遺跡

12. 豊田市郷土資料館に移設された写真の円墳は次のうちどれか？

- ア：檜尾 3 号墳 イ：香久礼 1 号墳
ウ：檜尾 1 号墳 エ：香久礼 3 号墳



13. 豊田大塚古墳の横穴式石室から出土した副葬品は、国の重要文化財に指定されているが、豊田大塚古墳から出土していない物は次のうちどれか？

- ア：装飾須恵器 イ：内行花文鏡 ウ：直刀 エ：馬具

14. 写真は、現在のところ国内で 2 つしか残っていない郷印の 1 つで、伊保郷で用いられたと考えられている。市指定文化財であり、豊田市郷土資料館の常設展で展示している。この印章の縦・横・高さはすべて同じ寸法であるが、次のうちどれか？

- ア：約 2.4 cm イ：約 3.3 cm
ウ：約 4.8 cm エ：約 9.9 cm



15. 大宝元年（701）に大宝律令が制定され、全国は五畿七道に分けられた。東海道の三河国は、七郡（のち八郡になる）が置かれた。現在の市内の大部分は、2 つの郡にまたがり、旭地区の一部は美濃国恵那郡、稲武地区の一部は設楽郡に属した。市内の大部分が属した 2 つの郡は、次のうちどれか？

- ア：挙母郡・碧海郡 イ：挙母郡・高橋郡
ウ：賀茂郡・碧海郡 エ：賀茂郡・挙母郡

16. 下の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

6世紀半ば、仏教が日本に伝わってきた。市内にも仏教の教えが広がり、立派な伽藍配置をもった古代寺院がいくつか建立された。そのうちの1つに、（ ）廃寺がある。猿投山麓東側の丘陵地に、塔心礎と3個の礎石が残り、古代瓦が出土し、昭和4年（1929）に「（ ）廃寺塔跡」として、国の史跡指定を受けた。

17. 現在の随応院（寺部町）の場所には、古代寺院があったことが知られている。随応院境内では、塔の中心になった1辺約140cmの花こう岩の塔心礎が残り、発掘調査では布目瓦が出土した。この古代寺院の名称は、次のうちどれか？

ア：勸学院文護寺 イ：牛寺廃寺 ウ：慶雲廃寺 エ：伊保古瓦出土地

18. 境内で行われる「綾渡の夜念仏と盆踊」（国指定重要無形民俗文化財）で知られている平勝寺（綾渡町）には、平安時代に造られた木造観音菩薩坐像（国指定重要文化財）があるが、その両脇に祀られている仏像（県指定文化財）の名称は、次のうちどれか？

ア：二天立像 イ：阿弥陀如来像 ウ：千手観音立像 エ：十一面観音立像

19. 猿投神社は、景行天皇と大碓命、垂仁天皇を祀り、古くから武士の信仰があつく、古い神宝類も多数所蔵している。鎌倉時代の承久の乱（1221年）後、高橋荘の地頭職となった人物の一族は、猿投神社を庇護し、南北朝時代には、この神社に「檜鳥糸威鎧 大袖付」、「太刀 銘行安」（重要文化財）を寄進した。この一族は、次のうちどれか？

ア：長田氏 イ：鈴木氏 ウ：中条氏 エ：小野氏

20. 写真は、長篠合戦図屏風の一部で、豊田市寺部町ゆかりの渡辺半蔵守綱の活躍が描かれている。渡辺半蔵守綱は、寺部渡辺家初代当主で、弘治3年（1557）から徳川家康に仕え、武勇をもって知られた人物である。三河国八幡の戦いで軍功をあげ、家康から異名をもらい、徳川十六将の一人に数えられる。その異名とは、次のうちどれか？

ア：鉾の半蔵
イ：槍の半蔵
ウ：弓の半蔵
エ：刀の半蔵



21. 14世紀後半、中条氏が太陽義沖を招き開山した豊田市内に今もある臨濟宗のお寺は、次のうちどれか？

ア：長興寺

イ：如意寺

ウ：千鳥寺

エ：隣松寺

22. 市内には、南北朝時代から室町・戦国時代にかけて築造された城や館が多く、約90カ所が知られる。その1つ、現在の寺部町付近には、中条氏の被官鈴木氏の居城として寺部城が築かれた。寺部城は幾度か戦乱に巻き込まれている。諸説あるが、この城を初陣として攻めたといわれている人物は次のうちどれか？

ア：今川義元

イ：織田信長

ウ：豊臣秀吉

エ：松平元康

23. 松平地区の松平町には、松平氏発祥の地に創建されたお寺がある。寺伝によると、貞治6年(1367)に松平郷主在原信重の庇護を受け「寂静寺」として建立したとされ、信重の娘婿の親氏(松平氏の始祖)が本尊阿弥陀仏をはじめ、堂塔すべてを寄進してから、寺名を改め、現在に至る。松平氏の菩提寺となっているこの寺の名称を答えなさい。

24. 寺部渡辺家の10代規綱は茶道の精進を重ね、28歳で家督を譲って剃髪した。その号は次のうちどれか？

ア：宗無

イ：又日庵

ウ：玄々齋

エ：吟香

25. 天和元年(1681)に本多忠利が挙母藩に国替えとなり、弟の忠周・忠晴2人も同時に加茂郡に国替えとなった。忠周は足助を治めたが、忠晴はどこを治めたか？

26. 天和元年(1681)から寛延2年(1749)まで挙母藩を治めていた本多家は、幕府の要職も勤めていた。その役職は次のうちどれか？

ア：組頭

イ：寺社奉行

ウ：老中

エ：知事

27. 天保7年(1836)に、凶作と米価の高騰に苦しんだ農民が一揆を起こした。茅原村(豊松町)から始まった一揆は、勢力を増し、このうち1隊は挙母城下に向かおうとしたところで鎮圧された。この一揆は何とよばれるか？

28. 現在は資料館として利用されている足助の中馬館は、大正元年（1912）に建てられ、愛知県指定有形文化財となっている。元は何の建物だったか？

- ア：銀行
- イ：郵便局
- ウ：病院
- エ：学校



29. 寛延2年（1749）に安中藩（群馬県）から国替えし、内藤政苗が藩主に任命された挙母藩の石高は次のうちどれか？

- ア：1万石
- イ：2万石
- ウ：10万石
- エ：20万石

30. 内藤家時代の挙母藩の飛地（離れた領地・三河国以外）2カ所について、所在国の組み合わせとして適当なものは次のうちどれか？

- ア：遠江国（静岡県）と美作国（岡山県）
- イ：美濃国（岐阜県）と安芸国（広島県）
- ウ：越前国（富山県）と近江国（滋賀県）
- エ：上野国（群馬県）と下総国（千葉県）

31. 天保4年（1833）に足助の香積寺の住職となり、三河一帯を布教して歩くとともに、多くの書画を描いた人物はだれか？



32. 高岡の医者の子に生まれ、国学者、歌人、勤皇思想家として活躍した人物で、書物を集めた文庫「千巻舎」が市指定文化財となっている人物はだれか？

33. 足助の町並みにある旧鈴木家住宅は、古い部分は江戸時代に建てられ、文化財に指定されている。どのような種類の文化財か？

- ア：市指定文化財
- イ：県指定文化財
- ウ：重要文化財
- エ：国宝

34. 平成26年9月、安倍首相の所信表明演説で取り上げられた稲橋村（現・稲武町）の古橋暉兒について間違っているものを選びなさい。

- ア：幕末から明治にかけて活躍し、平田篤胤に国学を学び勤王の志士を応援した。
- イ：村民に備荒貯穀や「世直し」という品種の米作りを奨励した。
- ウ：伊勢神峠に伊勢神宮のよう拝所を作った。
- エ：村民を救うため一揆を起こした。

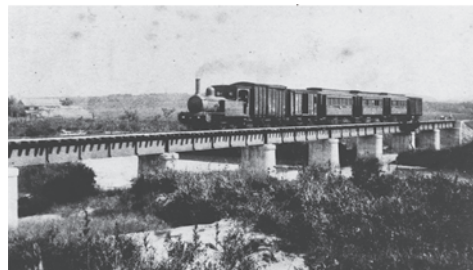


35. 下の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

明治4年（1971）7月14日の廃藩置県により現在の豊田市域は11の県に属することになり、同年11月15日に成立した（ ）県により、三河はひとつの県となった。（ ）県は明治5年11月27日に愛知県に編入され、尾張と三河はひとつの県となった。

36. 豊田市域に鉄道が走ったのは、知立～土橋間がはじめてであるが、いつのことか？次のうちから選びなさい。

- ア：明治19年
- イ：大正9年
- ウ：昭和3年
- エ：昭和18年



37. 明治時代に滋賀県の西澤真蔵らの出資でつくられた用水は次のうちどれか？

- ア：愛知用水 イ：枝下用水 ウ：大井平用水 エ：金山揚水

38. 写真は、大正6年（1917）から昭和56年（1981）まで、現在の産業文化センター（小坂本町）の場所で営業していた工場内の様子である。女性たちはどういう作業をしているか？

- ア：繭から糸を取っている。
- イ：綿の種を取っている。
- ウ：自動車の部品を作っている。
- エ：紙をすいている。



39. 写真の七州城図を描いた人物は、文久元年（1861）に挙母藩士の家に生まれ、明治期には挙母学校に教師として勤めた。霧のロンドンを描いて有名となり「霧の画家」といわれる義雄の兄でもあるこの人物は次のうちどれか？



- ア：藤井達吉 イ：本多静雄
ウ：高橋節郎 エ：牧野敏太郎

40. 尾三自動車株式会社は愛知県で初めての本格的なバス会社であるが、創業したのはいつか？

- ア：明治40年 イ：大正3年 ウ：昭和5年 エ：昭和16年

41. 豊田喜一郎は刈谷の豊田自動織機製作所内に自動車部を設け、挙母町に自動車工場の用地斡旋の申し入れをした。論地ヶ原で自動車工場が操業開始したのはいつか？

- ア：昭和3年 イ：昭和13年 ウ：昭和23年 エ：昭和33年

42. 第二次世界大戦中の昭和20年（1945）1月3日、名古屋上空で日本の戦闘機に体当たりを受けたB29が豊田市域に墜落したが、それはどこか？

- ア：松平 イ：猿投 ウ：足助 エ：小原

43. 第二次世界大戦中に名古屋城本丸御殿のふすま絵などの文化財が疎開した神社は次のうちどれか？

- ア：猿投神社（猿投町） イ：糟目春日神社（渡刈町）
ウ：挙母神社（挙母町） エ：灰宝神社（越戸町）

44. 「おいでんまつり」の前身である「豊田まつり」は、昭和43年（1968）に「天王・扇まつり」（写真）を受け継いでしまった。「天王・扇まつり」は挙母下町の夏祭りとして長い間親しまれてきたものであったが、この祭はどういうものか？次のうちから選びなさい。

- ア：疫病や虫の害、風水害などを起こすわざわいの神を鎮める祭
イ：扇の供養をする祭
ウ：山仕事の安全を祈り、山の神を祀る祭
エ：挙母藩内藤家の菩提を弔う祭



45. 挙母市が豊田市と市名変更した年は次のうちどれか？

ア：大正5年 イ：昭和26年 ウ：昭和34年 エ：昭和47年

46. 平成27年は徳川家康没後400年の記念の年であるが、徳川家康が生まれた場所は次のうちどれか？

ア：浜松城 イ：名古屋城 ウ：松平城 エ：岡崎城

47. 現在は公園として親しまれている鞍ヶ池は、江戸時代のはじめに灌がい用のため池として造られた。鞍ヶ池の名前の由来は次のうちどれか？

ア：建設を命じた領主が鞍を投げ込んだから。
イ：鞍の形に似ているから。
ウ：この地域が鞍の一大産地だったから。
エ：建設を指揮した人物が鞍を作る職人だったから。

48. 写真は昭和8年（1933）に始まる三河万歳で市指定無形民俗文化財に指定されているが、合併前のどこの町村のものか？

ア：小原村 イ：下山村
ウ：松平町 エ：稲武町



49. 平成27年11月28日・29日に第26回全国地芝居サミットが豊田市で開催され、小原・藤岡・石野・旭の歌舞伎保存会と萩野小学校が出演する。歌舞伎保存会のうち、市の指定文化財とされているのは、次のうちどれか？

ア：小原 イ：藤岡 ウ：石野 エ：旭

50. 豊田市が現在の市域となったのは平成17年（2005）であるが、そのときに合併した町村は、稲武町・小原村・旭町・足助町・下山村と、あとひとつはどこか？

ア：高岡町 イ：猿投町 ウ：上郷町 エ：藤岡町

